

【特別支援学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名		佐賀県立唐津特別支援学校好学会分校									
1 前年度 評価結果の概要		・目標を達成した項目については、今後も取り組みを継続しつつ更なる進化を図っていく。 ・児童生徒、教職員が安心して充実した学校生活を送ることができるよう、学校環境づくりを行っていく。 ・児童生徒に対し、教職員間での情報共有、指導法の共有などの徹底を図る。									
2 学校教育目標		児童生徒一人一人に応じた教育活動を通して、子どもたちのもつ可能性をできる限り広げ、 校訓にうたっている「明るく元気に生きる力」「心豊かに生活する力」「たくましく自立 し社会に参加する力」を育むとともに、他人を思いやることのできる児童生徒を育成する。									
3 本年度の重点目標		① 児童生徒の自立と社会参加を目指した教育活動の推進に努める。 ② 児童生徒のこれまでの成育歴や障害特性に配慮しながら、教職員が教育目標、教育活動について意思統一を図る。 ③ 分校に通う児童生徒の指導・支援について、教職員の専門性の向上を図る。 ④ 児童心理治療施設「好学会」等の関係機関と連携し、支援体制の確立を図ることで学校運営を円滑に遂行する。 ⑤ 業務および組織の見直しを常に行いつつ、働き方改革の推進に努める。									
4 重点取組内容・成果指標				中間評価			5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目											
重点取組				具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)		進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援による確かな学力の定着	○授業への取り組みが向上した(理解度、授業を受ける態度など)と認められる児童生徒80%以上 ○家庭学習の定着:課題に取り組み、提出する児童生徒80%以上 ○「個別の指導計画における自立活動の指導及び評価が適切に行われた」と回答する教員80%以上		・児童生徒に合わせた学習環境や学習形態などの工夫(ICT機器の効果的な活用や活動内容・時間の調整など個別の対応を可能な範囲で実施) ・教科・学年・生徒・職員の垣根を超え、協働的学びを促進する ・自立活動に関する専門性向上のため校内研究及び職員研修を設定し、効果的な指導及び評価を行う		・		・			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○他者との接し方を含めた生活態度が向上した児童生徒70%以上 ○自分の行動を振り返ったり、思いを適切に話せるようになったりした児童生徒70%以上		・学校生活の様々な場面で、教師が手本となる言動を示す ・児童生徒の思いを表出しやすくなる場の設定や関わり方を行う		・			・		
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの防止や対応等を理解し、組織的に行うことができていると回答した教員100%		・いじめに関する研修を年2回以上実施 ・いじめの認知・認知の観点から、児童生徒の様子を正しく把握し、教師間の情報共有を密に行う		・			・		
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上		・各種体験活動では、児童生徒に活動の見通しと学びの振り返りを行う活動を仕組む ・個別の各種計画に本人及び保護者の希望やニーズを反映させる ・中学部における進路指導の充実(職場体験、見学、高校説明会等の実施)		・			・		
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	●毎食後に「自分から歯磨きを行っている」と回答する施設職員80%以上		・歯の健康に関する意識向上を図る取り組みの実施 ・保健だよりの定期的な発行		・			・		
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上		・毎週金曜日を定時退勤に設定 ・学校閉庁日を5日間設定する ・会議内容の事前周知や資料の精選による会議回数や時間短縮 ・年休の取りやすい環境を醸成する		・			・		
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											主な担当者
重点取組				具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	進捗度 (評価)		進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○関係機関との連携の推進	○児童相談所や好学会、関係学校との連携強化	○児童相談所との情報共有ケース会等を積極開催 定例会:年12回 合同会議:年11回 原籍校連絡会:年2回 ケース会		・好学会との細やかな情報交換、情報共有の実施及び職員による好学会訪問の実施 ・児童相談所への連携強化のためケース会開催依頼を積極的に行う		・			・		
●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育											
5 総合評価・ 次年度への展望		・ ・ ・									